

- ウ. 講 師
- ◎農 業
 県農協連中央会指導部教育課長 若松茂平
- ◎工 業
 日本国有鉄道構造物設計事務所 設計課長補佐 小池 普
 常磐コンクリート工業 (KK) 技術課長 紺野 繁雄
 谷藤機械工業 (KK) 開発課長代理 神谷 堅太郎

- ◎商 業
 全国産業教育担当指導主事協会理事長 横田 弘之
 東邦銀行経営相談所所長 内池 佐太郎

- ◎家 庭
 文化服装学院 講師 小松 正子
 郡山女子大学助教授 川股 浩

エ. 教科別講習内容

- ◎農 業-----(1) 農業の生産管理について
 (2) 農業簿記の演習
- ◎工 業-----(1) 土質実験
 (2) 試験法の実際
 (3) PCの理論と実際
 (4) PCの製作実技
- ◎商 業-----(1) 加算機・計算機のタッチメソッド
 (2) 加算機・計算機のプログラム学習
 (3) 卓上簿記会計機の操作
 (4) 仕訳、元帳、日計表等の記帳および操作
 (5) 事務機械利用による総合演習
- ◎家 庭-----(1) 教材研究のすすめ方
 (2) 被服材料について
 (3) デザイン指導と型紙活用の実際
 (4) ブラウスの縫製

3 産業教育の実施について、産業界との協力促進に関すること。

(1) 技能連携に関すること。

昭和36年学校教育法第45条の改正。昭和38年の文部省告示によって、県立福島工業高等学校、県立平工業高等学校と、福島市協三工業株式会社（鉄道車輛、その他の車輛、機械）、いわき市常磐炭鉱株式会社（常磐炭鉱中堅鉱員養成）、いわき市株式会社常磐製作所（機械工作）が技能連携教育を実施している。

その概要は次のとおりである。

① 技能連携教育の現況

ア. 県立福島工業高等学校と協三工業株式会社

○認可：昭和38年4月4日（訓練所開始昭和24年4月1日）

○認定科目：5科目（機械実習、機械製図、機械工作、原動機、電気一般）

○学級編成：連携対象生徒20名を1学級の対象としている。

○職員：学校 主事、教諭23名、実習助手2名、会社 所長職員14名、実習指導員17名

イ. 県立平工業高等学校と常磐炭鉱株式会社

○認可：昭和40年7月3日（習技所開始昭和26年7月9日）

○認定科目：6科目（機械実習、採鉱、鉱山機械、鉱山保安、原動機、電気一般）

○学級編成：連携対象生徒20名を1学級の対象としている。

○職員：学校 主事、教諭21名、実習助手2名、会社 所長職員13名、実習指導員16名

ウ. 県立平工業高等学校と株式会社常磐製作所

○認可：昭和42年2月9日

○認定科目：5科目（機械、製図、機械工作、機械材料、電気一般）

○学級編成：連携対象生徒20名を1学級の対象としている。

○職員：学校 主事、教諭21名、実習助手2名、会社 所長職員27名、実習指導員16名

② 技能連携指導上の問題

ア. 連携生徒が出席しない日に、学校行事、HR、クラブ活動、授業等が進められた場合、連携生徒に差別感や劣等感が起こりやすい。

イ. 連携生徒は、知識、技能、技術の専門性は、施設の指導によって深められるが、基礎的知識、および、技能、技術の修得は出校日数等の関係で高められないきらいがある。

ウ. 連携生徒の能力、適性は、特に多様であるし、生活経験の内容も違っているので、学習指導、生活指導上困難がある。

4 産業教育審議会に関すること

(1) 福島県産業教育審議会委員

氏名	所属	公職名	委嘱期間	備考
三瓶 正弘	産 業 経 済 界	県議会 厚生文教委員長	42・6・1 ～44・3・31	新任
須藤 仁郎	"	福島商工会議所会頭	42・4・1 ～44・3・31	新任
浅間 久雄	"	福島経営者協会会長	41・4・1 ～43・3・31	
児玉 宗一	"	県農業試験場長	41・4・1 ～43・3・31	
富田 高明	教育界	福島工業高等学校長	41・4・1 ～43・3・31	
津田 悌	"	福島商業高等学校長	42・4・1 ～44・3・31	再任
鈴木 英一	"	福島農蚕高等学校長	42・4・1 ～44・3・31	再任
高橋キヨ子	"	福島大学教育学部 助教授	41・4・1 ～43・3・31	
桜木左久雄	勤労界	福島高教組 執行委員長	42・4・1 ～43・3・31	新任
和田 敬久	"	県労協議長	42・4・1 ～44・3・31	再任
岡崎 正彦	行 政 機 関	県総務部長	42・4・1 ～44・3・31	新任
大塚 喬清	"	県教育庁次長	42・7・1 ～43・3・31	新任